

032

東日本大震災の経験や被災者の声をもと に開発された新たな防災備蓄食

取組主体

株式会社ワンテール

従業員数

25人

想定災害

全般

実施地域

宮城県

- 東日本大震災の経験や被災者の声をもとに、新たな防災備蓄食として 5 年保存できるゼリー「LIFE STOCK」を開発。水分と栄養が摂れ、調理せずに食べられることが特徴。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

東日本大震災の経験や被災者の声をもとに、5 年保存できるゼリータイプの防災備蓄食を開発

- 食文化創造事業と備蓄・防災事業を展開する株式会社ワンテールは、東日本大震災の経験や被災者の声をもとに、新たな防災備蓄食として 5 年保存できるゼリー「LIFE STOCK（ライフストック）」を開発した。
- 同社は、避難所の備蓄食が、高齢者や子どもには食べにくい乾パン等の炭水化物に偏っていることに疑問を感じ、水なしで食べられる栄養価の高いものを備蓄食にすべく、開発に着手した。
- 同製品は火や水を用いた調理が不要であるため、手軽に水分と栄養を摂ることができる。2 種類のタイプごとに摂取可能な栄養素が異なり、バランスタイプ（アップル&キャロット味）は厚生労働省の「避難所における食事提供の計画・評価のために当面目標とする栄養の参照量」の 1 日分のビタミン量を踏まえ、様々な栄養が含まれている。エナジータイプ（ペアー味、グレープ味）は 1 個あたり約 200 キロカロリーで、体力消耗時のエネルギー補給に適している。また、食物アレルギー特定原材料等 28 品目についても、バランスタイプは 7 品目が不使用、エナジータイプはすべて不使用となっている。パッケージもコンパクトで、ごみがかさばらないことも、避難所での活用に適する特徴のひとつである。
- 北海道から沖縄まで全国の自治体や企業、医療施設、学校への販売実績があり、個人での購入も増加している。
- 令和 2 年 8 月には、近年増加する台風被害の避難者やボランティア等の熱中症対策として、塩分やミネラルが含まれた「Water Break（ウォーターブレイク）」の販売を開始した。同社は、平時にも有事の際にも活用できる商品の開発に引き続き取り組んでいく考えである。



ゼリータイプの防災備蓄食「LIFE STOCK」

2 現状の課題・今後の展開等

- 今後は、地元生産者や地元の一流シェフとともに備蓄食を作る「参加型備蓄食」としての同製品の展開や、重度の障がいのある方でも食べられる商品の開発を目指している。
- 令和元年から、同社は宇宙航空研究開発機構（JAXA）と、極限状態の宇宙空間と災害時における食に関する共通課題に着目し、双方のノウハウや強みを組み合わせることで新しい防災・宇宙産業を創出する「BOSAI SPACE FULFILLMENT PROJECT（BSFP）」に取り組んでいる。また、「いのちの未来にイノベーションを」をビジョンに掲げ、様々な業種の企業や自治体と連携しながら、IT、メディア、モビリティ等の分野における防災産業の創出を目指している。

担当者の声

- より多くの方に食べて頂ける商品であることを目指し、高齢の方から小さいお子様、アレルギーをお持ちの方、様々な方が集まる避難所で皆様が召し上げられる、本当に欲しかった備蓄食を開発しました。私たちは、これからも防災に役立つサービス・商品を被災地から世界へ向けて力強い復興の発信を行っていきます。

問合せ先

株式会社ワンテール 法人番号：7370001040522
TEL：022-355-6696 FAX：022-355-6695 E-Mail：onetable.info@onetable.jp

サイト URL

